

迎春

新年あけましておめでとうございます。新年のスタートにあたり、取引先様、テクニカルメンバーの皆様、社員の皆様に念頭のご挨拶を申し上げます。



2021年も新型コロナの猛威、そして、住宅業界としてはウッドショックという大問題を抱えながらも、無事に新年のご挨拶をする事出来ました事大変嬉しく思います。また、去年は新しくテクニカルメンバーとして山陰と静岡の新しい仲間も加わり、そのエリアでの新しいお客様との出会いもあり、非常に有意義な1年でした。今年も、変化の絶えない1年となるでしょうが、当社の企業理念である「未来を紡ぐ」為に、猛進していく所存であります。取引先の皆様、テクニカルメンバーの皆様、社員の皆様、更に皆様のご家族のご健勝とご活躍を祈念し、私の新年の挨拶とさせていただきます。

株式会社アースレイズ 代表取締役社長 古澤 圭



専務取締役
藤堂雅俊

旧年中は格別のご高配を賜り、心よりお礼申し上げます。昨年、ビルダー様の御依頼で取り組んだ地中梁なしのコラム基礎の構造計算が好評頂いております。本年もご要望を伺いながら【良い家造り】のお手伝いをさせていただければと思いますので宜しくお願い致します。



専務取締役
北村健治

本年は構造計算のハードル、地中梁の課題を解決するために取り組みを始めたKJS工法を本格的にスタート。より良い家づくりを全力で応援させていただきます。



株式会社アースレイズ
西日本支店
吉永 勇

西日本支店開設1年9カ月
本年度は増員等支店体制を整え、更なる皆様へのサポートを充実させたいと思います。
2022年も「より安心・安全な家づくり」をモットーに！



設計部
野田行良

今年は何事にもチャレンジいたします。自らやってみる、体験することで個人として成長する年にします。



調査
横尾怜志

ここ数年、調査するエリアがどんどん拡大していております。それに対応するためにも自分自身の見識を深め、更なる技術の向上に努めて参ります。



調査
滝波 広志

私の新年の抱負は『初心に帰る』です。昨年お世話になった方々への感謝の気持ちを込めて、まずは新年目の前のゴミを拾うところから始めます！今年も宜しくお願い致します。



業務部 主任
木元彩乃

昨年に引き続き明るく元気な対応を心掛け、精一杯頑張りたいと思います。本年もよろしくお願い致します。



業務部
黒島はるか

11月より入社しました。黒島と申します。まだまだ不慣れな点が多いので、1日でも早くテキパキと業務をこなせるようになるように、精一杯頑張ります！

今年もよろしく
お願い
いたします。



土質確認の重要性

今回は、アースレイズの特徴である詳細な地盤調査・解析の為に一番大事にしているといっても過言ではない「土質確認の重要性」についてご案内します。

住宅の地盤の事故の多くは不同沈下ですが、不同沈下は粘性土地盤の圧密が原因になることが多いです。

地盤調査で行うSWS試験の最大の欠点は、土質の確認ができない事です。

多くの地盤調査会社（＝改良工事会社）は、SWS試験結果の土質を推定で表記をします。

よって、土質を確認しないで判断するので、不必要な改良工事や事故が増えるのです。

アースレイズではハンドオーガーボーリングで最大で5mまで土を採取しています。

非常に大変な作業ですが、実際に土を採取すると非常に多くの情報が得られ、その情報で判定結果が左右されます。

目視で色の変化を確認し、土を触り、採取した試料で含水比を計測すること等、土の情報を得ることでSWS試験のみで解析するより高度な解析が行えて、結果不必要な改良工事や事故が無くなります。

また、自沈をしていなくとも腐植土等が採取されることや、貫入障害が石などによるのか解体のガラなのか等の確認も行えます。更に、改良工事が必要な場合にも、セメント系の改良工事と相性が悪い土の確認等も行えるため、土を採取確認する事は地盤調査での必要不可欠の項目なのです。

正しい土質確認は地盤調査・解析専門のアースレイズだからできるこだわりです！



アースレイズの報告書には土質の柱状図が入りますが、ほとんどの項目がSWS試験のみの会社では記入できません！

深度 (G.L.)	柱状図	色調	土質名	観察	含水比	孔内水位
0.25						
0.50						
0.75		暗褐色	粘性土		58%	
1.00						
1.25				土質変化(ローム)		
1.50		褐色		GL-1.50～1.75mまで 腐植土を含む。	112%	
1.75				土質変化(腐植土)		
2.00						
2.25		黄色			130%	
2.50						
2.75						
3.00				土質変化(ローム)		
3.25			火山灰質粘性土			
3.50		灰褐色			125%	
3.75						
4.00						
4.25						
4.50				孔内水位	135%	4.5m ▽ T
4.75		黄褐色				
5.00					140%	

土質の変化を詳細に記録しています。

色調の変化を詳細に記録しています。

土質変化ごとに含水比を計測し、記録しています。

試験孔から、水位計で計測し記録しています。

通常の調査のみだと上記の項目は推定で表示される為、解析も推定をもとに行う事になります！

良質住宅指南

株式会社アースレイズ 一級建築士 北村 健治

本当に安全で
安心できる家
づくりのポ
イントを構造・
基礎・地盤の
三方向から解
説します。

構 造

基 礎

地 盤

第 6 話

新年にあたり 初心に戻って 3つの話を。

みなさま、本年もよろしくお願いいたします。
初心に戻る意味で建築基準法第1条を書いておきます。

建築基準法第1章総則

第1条（目的）この法律は、建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする。

今年もこの条文を心に刻み仕事に精進します。
新年にあたり、3つの話をさせていただきます。

1. アースレイズの想い

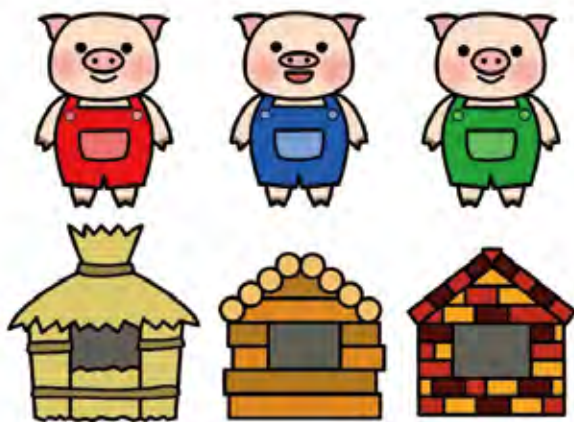
アースレイズでは地盤調査・解析、構造計算（許容応力度）、外皮計算、一次消費エネルギー計算、設計性能評価・長期優良住宅の申請サポートを生業としております。これらの業務を進める上で大切にしていることは、弊社代表の「お客様を見て仕事する」という精神です。アースレイズの「構造計算をはじめとて、やりたいけど諸々の理由で実現でないことお手伝いする。」という業務は建設会社ことですが、最終的にはエンドユーザであるお客様のための仕事となります。今年もこのことを忘れず精進いたします。

2. 御社の家づくりは？

家づくりの根本性能を考えたとき、ある物語を思い出します。その物語は誰もが知っている童話「3匹の子豚」です。長男の「藁の家」は建築基準法の家、次男の「木の家」は性能評価の耐震等級の家、末っ子の「レンガの家」は許容応力度の対等級の家。そんなイメージです。狼は・・・？ 狼は「地震」です。子豚にとっては来るか来ないかわからない、想像もしたくない、考た

くないものでしょう。

地域に根ざし、お客様の幸せを住宅建設で実現する御社は「長男・次男・末っ子」どれに該当しますか？このアースレイズ通信をご覧の皆様は、地盤調査では末っ子です。お客様の幸せを真剣に考える御家づくりも長男から末っ子になりませんか？アースレイズは、末っ子になる建設会社様を今年も全力で応援いたします。



3. 2つの課題を解決するご提案

1つ目の課題は構造計算のハードルの高さ。木造住宅の構造計算がなかなか進まない理由として「梁せいが上がる」「地中梁が必要となるため、基礎工事代金が増える」などの意見が多いです。2つ目の課題はベタ基礎の欠陥が多いこと。もともと人通口は補強しなければベタ基礎は成り立ちませんが、耐圧版が無補強のまま施工されることが大半で、欠陥があると言わざるを得ません。この2つの課題を解決する方法が基礎の本来の仕事、役割を考えた「KJS工法」
本年早いうちに公開いたしますのでご期待ください。

最後に「構造計算管理システム」を現在開発中であることをお伝えいたします。構造計算から外皮計算、各種サポート業務まで一括管理できるシステムで、建設業者様においても、物件の進捗管理にも活用できるシステムとなっております。こちらも公開まで、今しばらくお待ちください。

皆様と一緒に成長するアースレイズを今後共よろしくお願いいたします。



次の世代が安心して住める世界へ
地盤の解析から未来を紡ぐ
アースレイズ





テクニカルメンバーより 新年のご挨拶

アースレイズ山形

阿部 太郎



新年、明けましておめでとうございます。
今年も、不必要な改良を少しでも減らせる様
お施主様の資産を守るべく調査を邁進したいと思います。

アースレイズ山形

越川 善隆



新年、あけましておめでとうございます。
昨年11月から入社ですので、業務の内容について早
急に理解を深め、お客様に、安全と安心を届けられる
よう努めます。

アースレイズ新潟

大久保 征人



あけましておめでとうございます。
私が調査員を始めて2回目の冬を迎え
環境にも慣れてきました。
まだまだ未熟ではありますが、
これからもアースレイズの理念に基づき
真摯に調査に取り組んで参りたいと思います。

アースレイズ北陸

小森 輝昭



新年、明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び
申し上げます。また旧年中は多大なるご尽力をいただき、本年
も更なるサービスの向上に努めて参りますので、より一層のご
支援お引立てを賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健
康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

アースレイズ信越・北関東

金澤 将仁



明けましておめでとうございます。
旧年中は、格別のお引き立てを賜り、誠にありがと
うございました。本年は、アースレイズの調査員として活
動を開始し、6年目の年を迎えより一層的確に実直に
業務に励む所存でございます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

アースレイズ静岡

坂田 光弘



新年あけましておめでとうございます。
昨年起業し、今年は本格的に事業を推進する年とな
ります。皆様のご指導を賜りながら、前進してまい
ります。アースレイズ静岡 今後ともよろしくお願い
致します。

アースレイズ愛知

下里 和揮



あけましておめでとうございます。
昨年中は格別のお引き立てを賜り、
誠にありがとうございました。
今年は増員も視野に入れながら、
日々適正な指導・調査を心掛け安心、
安全な住環境を提供していきたいと思ひます。

アースレイズ京都

前野 仁志



アースレイズ京都で調査を担当しています前野です。
地盤調査を始めてはや5年たちますが、
いまだに現場で新たな発見があり楽しく仕事をしてい
ます。自分が担当しているエリアのおおまかな地質が
見えてきたので、今年は思い切って遠方の調査もトラ
イしてみたいと考えています。

アースレイズ山陰

森 健志



明けましておめでとうございます。
家づくりに関わる一員として、お客様がより安全・安
心してお住まいいただけるよう正確・的確な業務を
心掛けて行きたいと思ひます。今後ともよろしくお願い
致します。

アースレイズ福岡

伊藤 優介



新年明けましておめでとうございます。
旧年中は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。
今年も無駄な改良工事を減らすべく努力することは
勿論の事、構造計算の浸透にも力を入れていきます。

アースレイズ福岡

藤田 宏伸



明けましておめでとうございます。
入社半年が経ち、お陰様で業務にも随分慣れてきまし
た。今年はもっと沢山の方にアースレイズの調査を知
って頂き、無駄な改良工事を減らします。

今春本社
移転予定

株式会社アースレイズの
ホームページはこちらから



株式会社アースレイズ

本 社：〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 3丁目 337-22
桜ガーデン宮原 2F(新社屋住所)

TEL:048-782-8783 FAX:048-782-8784

西日本支店：〒801-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通2-6-12-802
八千代ビルYA55 8階

WEB <http://corp.earthraise.co.jp> E-mail info@earthraise.co.jp



テクニカル
メンバー

アースレイズ山形 アースレイズ新潟 アースレイズ信越・北関東 アースレイズ北陸 アースレイズ静岡 アースレイズ愛知
アースレイズ京都 アースレイズ山陰 アースレイズ福岡 アースレイズ宮崎